

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

新型インフルエンザの拡大防止を



菊池 民彌 議員 (正心会)

今後、養蜂農家等関係機関との情報共有をしていく。

問 新型インフルエンザの対応策と、今後の拡大防止と重症化の防止策は。

問 花粉交配用ミツバチ不足の対応は。

答 国内発生を受け警戒本部を設置。感染者確認後、対策本部に切り替えた。公共施設25ヶ所に消毒薬等を配置し予防を図った。早期受診をすすめ、拡大防止や

重症化防止の徹底を図る。問 初代市長としての市政運営の検証とその評価を問う。

答 公平・公正・公開を基本に、市民協働による「永遠の日本のふるさと遠野」のまちづくりに取組んだ。

問 宮守町の雇用、産業振興等に取組む。合併協定項目の事務事業調整では全119事業中115事業の調整が完了し、残り4事業は本年度完了の

問 中学校再編成時期について

答 同時期スタートには変わりない。今後の話し合い次第では、一部先行実施も選択肢の一つだ。

問 全国学力テストの実施結果について問う。

答 本市の正答率は、小6は全国平均、県平均に比較

総合計画前期基本計画の成果と課題について



菊池 充 議員 (無党派)

問 人口減少対策について

答 今後も人口減少は進むと予想されるが、歯止めをかける為に少子化対策を含めた総合的な政策としてのわらすこプランの目標

問 農業生産100億円達成アクションプランでの成果と課題の検証作業をすすめ、指導体制も一本化し総合的な振興を図っている。畜産についても今までの対処療法的な対策ではなく、抜本的な生産体系の見直しと、新しい生産方式の導入等について現在検討している。

問 宮守町の町づくり対策について

答 合併後、CATVの整備、デマンド方式によるバス運行、3地区への児童クラブの整備等町づくりに取組んできた。宮守地域まちづくり会議の報告書では、住民の健康づくりの為に施設整備、雇用対策、遠野ブランドを生かした農業の振

見通し。後期計画は不透明な社会・経済情勢を見据え計画策定に努める。

その他の質問

林道整備について